

今後への期待と努力を新たに

二荒山神社で市制施行記念報告祭



二月十一日の市制施行記念日に、日光市の産業、経済、文化公益、福祉などの増進に尽力された功労をたたえ、三団体、九七人の方々の表彰を行ないました。受彰された方々の名まえは前月号でお知らせしたとおりです。

二荒山神社で、市長はじめ市議会議員、自治会長、自治功労者など関係者が多数参列して、市制一四周年の記念報告祭を行いました。

二荒山神社八乙女による「二荒の舞」や精銅所合唱団と竹晃会の尺八、琴による「紀元節の歌」が奉納され、その後、市議会議長はじめ代表者が玉串を奉納して、市制一四周年の報告を行ないました。

私たちも、これまでの発展を祝うとともに、今後への期待と努力を新たに生活文化の向上につとめましょう。

市の建設工事請負希望者は

入札参加資格申請を

昭和四十三年度の市の建設事業請負工事を希望される方は、つぎの要領で建設課へ申請書を提出してください。

※申請書受付期間

三月一日から三月三十一日まで

で(一か月間)

※提出先 建設課

※提出部数 一部

※申請書購入先

栃木県建設協会(宇都宮市)

あなたとみんなのために 交通災害共済制度に加入しよう

→ 7,877人 ?

この数字は、昨年一年間の県内における交通事故による死傷者の数です。

全国で見ますと、四九秒に一人が死傷し、三九分一人が死んでいく、これが数字のあらわす交通事故の悲惨な姿です。

みなさん、この数字が示すとおり、私たちはいつでもどこかで事故の恐怖にさらされているのです。

そこで、市では皆さんが万一のときにそなえ、お互に助けあう「交通災害共済制度」を設けようとして検討してきましたが、このほど県がまとめて行なうことになり、つぎの要領で実施することになりました。

春を呼ぶ日光開山祭

日光駅からお練行列を計画

日光の隆生は江戸時代初期にはいつてからのことですが日光開創は遠く奈良朝の末期における勝道上人の偉業に発しています。上人は天平神護二年、初めて大谷川を渡り草庵を結び一寺を創設したのですが、これが四本龍寺で、日光山の発祥であります。

輪王寺では、毎年四月一日に開祖勝道上人の法要(開山会)を行なっていますが、としから、この開山会に合わせ、日光観光協会では、勝道上人の徳を広くひろめるため、また、日光に春を呼ぶ祭典として開山祭を計画しています。

行事の内容は、輪王寺では開山会を開山堂から本堂(三仏堂)に移し従来どおり法要を行ないますが、観光協会では観光的な要素をおりこむため、二社一寺の協力を得て、四月一日に、日光駅から輪王寺本堂まで盛大なお練行列を行なう予定です。

交通災害共済制度のあらまし

この制度は栃木県に住んでい人および県内の事業所に勤めている人を対象にして、車輛等による、いわゆる交通事故で災害を受けたとき、災害の程度によって一定額の見舞金を給付するもので、不幸にして死亡したときは五〇万円給付されます。

**年額三五〇円の掛金で
二千元以上五〇万円の給付**

共済期間 加入した日の翌日から一年間です。ただし、ことは四月一日から加入受付を始めて五月一日から適用になります。

給付金 死亡の場合五〇万円、その他、災害の程度によって三〇万円、一〇万円、五万円、二万円、五、〇〇〇円を給付適用になる交通事故

日本国内で自動車(トローリバス、自転車等を含む)によって発生した人身事故。歩行中、自動車等にはなされた事故は含まれません。

加入手続 地区別に説明会をかねて加入申込の受付をするほか、四月一日からは市民課、支所、出張所で受け付けをしますから、万一にそなえて家族ぐるみで加入してください